

私立大学図書館協会 2011 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2011 年 12 月 22 日（木）14：00～17：00

場 所：関西学院大学（上ヶ原キャンパス）大学図書館会議室

出席者：大平龍玄（愛知学院大学）、今村太朗（関西学院大学）、長島敏樹（慶應義塾大学）、
合田豊二（東京農業大学）、木村千鶴（広島修道大学）

欠席者：鈴木直子（明治学院大学）

会長校：伊藤秀弥（立教大学）

事務局：鈴木有紀（慶應義塾大学）

配布資料

- ① 国際協力基金支援企業一覧 ※ 12 月 7 日現在
- ② 2011 年度第 2 回搬送事業申請
- ③ 2011 年度第 2 回寄贈資料搬送事業見積書
- ④ 2011 年度海外認定研修申請者
- ⑤ 国際図書館協力シンポジウム実施一覧
- ⑥ 2012 年度私立大学図書館協会国際協力シンポジウム要検討事項
- ⑦ 海外集合研修参加者からのシンポジウム講師推薦について

報告事項

1. 2011 年度国際図書館協力基金入金状況（資料①）
現時点での依頼状況、入金状況を確認した。
2. モーテンソンセンターとの協定締結
協定書(2012 年 1 月より 2012 年 12 月まで)を第 4 回委員会報告済の内容で締結したこと、これに基づき、第 4 回委員会で 2012 年度海外派遣研修の参加者に決定した聖路加看護大学の佐藤晋巨氏について、モーテンソンセンターへの受入手続が進んでいることが報告された。
3. 寄贈資料搬送事業実施要領の改訂（会長校報告）
第 3 回委員会で決定した寄贈資料搬送事業実施要領の改訂について、12 月 2 日の常任幹事会にて承認され、同日を改訂日として委員会ホームページ掲載済であることが報告された。
4. その他
2011 年度海外集合研修の参加者 8 名の帰国が報告された。12 月 19 日に代表者来訪の上帰国報告があり、委員長からは研修報告書の提出と、2012 年研究大会での発表を依頼済である。

審議事項

1. 2011 年度第 2 回寄贈資料搬送事業の採択（資料②、③）
審議の上、申請のあった 4 件(国際大学よりタンザニア Institute of Rural Development Planning 宛寄贈、東海大学より韓国 仁荷大学 静石学術情報図書館宛寄贈、淑徳大学よりカンボジア International Japanese Culture Institution 123 Library 宛寄贈、龍谷大学よりイ

インドネシア Hasanuddin University Library 宛寄贈)すべて採択と決定した。結果については会長校より各校へ書面にて通知する。

2. 2011 年度海外認定研修の採択 (資料④)

まず募集要項に提出書類として記載された「証憑書類の原本」とは、支払を証明する書類として領収証もしくはクレジットカード支払明細(クレジットカード明細の場合、申請に無関係な支払いを含む場合に限りコピーでも可)を指すことを確認した。審議の上、まず 3 件を採択と決定し、残り 3 件は採択を前提として証憑書類の提出もしくは報告書の一部修正を求めることにした。

3. 2011 年度海外認定研修の第 2 次募集について

12 月 2 日の常任幹事会にて、海外認定研修の予算に余裕がある(募集枠は 10 人)ので第 2 次募集をしてはどうかとの意見が出されたことが報告された。検討の結果、実施する場合の募集期間(約 2 カ月)が今回(約 4 カ月)に比べ短いこと、また募集枠の過半数の応募があったことから、今年度は第 2 次募集を行わないことにした。

4. 今後の海外認定研修の対象者について

12 月 2 日の常任幹事会にて、図書館業務の委託化が進んでいることから、専任職員以外の応募を認めてはどうかとの意見が出されたことが報告された。検討の結果、本研修の成果は協会に還元される性質のものであるとの観点から、対象者は現在加盟校で雇用され図書館に所属する者に限定することを確認した。

5. 2012 年度国際図書館協力シンポジウムの実施 (資料⑤、⑥、⑦)

以下の方向で決定していくこととした。

開催時期・場所：10 月、関西地区

講師：海外集合研修での訪問先の図書館員を講演者候補とし、パネリスト等を国内で依頼。

テーマ：新しいサービスと伝統との共存

なお、当日の様子を動画撮影し加盟校で共有することも検討する。

6. 「海外集合研修」「国際図書館協力シンポジウム」の企画・実施方法等の見直し

第 3 回委員会で決定した 2012 年度海外集合研修の中止について、12 月 2 日の常任幹事会で了承されたことが会長校より報告された。

続いて、第 4 回委員会後、企画等の委託が可能と思われる外部業者について各委員が調査した結果が報告された。海外への派遣に限らず海外からの招聘についても対応可能と思われる業者が複数候補に挙げられたため、まずシンポジウムについて仮に見積りを依頼することにした。(後日、海外集合研修についても見積りを依頼することにした)

7. 次回の開催予定

後日、以下の通り決定した。

2 月 22 日(水) 14:00- 明治学院大学にて開催する。

以上